

NEWS LETTER (調査レポート)

ソニー生命調べ／社会人1年目・2年目の男女1,000名にアンケート

社会人1年目と2年目の意識調査 2025**社会人1年目にかかった金額 儉約志向強まりすべての項目で昨年より減少傾向に****社会人1年目に貯蓄した金額 平均52万円、昨年調査から3万円増加
社会人2年生の30歳時点の目標貯蓄額 平均1012万円、昨年から26万円増加****30歳時点の目標年収 社会人2年生の男性は平均857万円、昨年から152万円増加****「出世したいと思わない」社会人1年生4割強、2年生5割、2年生女性では6割強****社会人1年生・2年生と一緒に働きたくないと思う、嫌いな先輩・上司の特徴TOP5
「いつもイライラ」「口を開けば悪口・嫌味」「高圧的」「ミスの詰め方がきつい」「傲慢・人を見下す」****目標にしたい先輩のイメージに合う有名人****男性有名人 1位「大谷翔平さん」、女性有名人 1位「天海祐希さん」**

ソニー生命では、社会人1年生・2年生の意識を明らかにするため、今年で12回目となる「社会人1年目と2年目の意識調査」を行いましたので、お知らせいたします。

■ POINT 1**⇒社会人1年目にかかった金額 儉約志向強まりすべての項目で昨年より減少傾向に**

社会人2年生(500名)に、社会人1年目の生活でかかったお金について質問しました。

昨年の調査結果と比較すると、かかった金額の平均は、《身だしなみ(スーツ・化粧品など)》では4,351円の減少(2024年48,429円→2025年44,078円)、《自己投資(資格取得、セミナー参加、書籍購入など)》では2,962円の減少(2024年25,295円→2025年22,333円)、《プライベートな付き合い・交際》では9,297円の減少(2024年202,990円→2025年193,693円)、《実家に入れた金額》では9,814円の減少(2024年153,888円→2025年144,074円)と、すべての項目において減少しました。物価高騰による生活不安から儉約志向が高まり、消費支出が抑制される傾向にあるのではないのでしょうか。(p.5)

■ POINT 2**⇒社会人1年目に貯蓄した金額 平均52万円、昨年調査から3万円増加****社会人2年生の30歳時点の目標貯蓄額 平均1012万円、昨年から26万円増加**

社会人2年生(500名)に、社会人1年目の生活で貯蓄した金額を聞いたところ、「100万円以上」(26.0%)に最も多くの回答が集まったほか、「0円」(16.0%)、「10万円未満」(19.8%)、「50万円～100万円未満」(16.2%)に回答が分かれ、平均は52万円でした。

昨年の調査結果と比較すると、社会人1年目の生活で貯蓄した金額の平均は2024年49万円→2025年52万円と3万円増加しました。(p.6)

社会人2年生の30歳時点の目標貯蓄額について、昨年の調査結果と比較すると、目標貯蓄額の平均は、2024年986万円→2025年1012万円と26万円増加しました。(p.7)

■ POINT 3**⇒30歳時点の目標年収 社会人2年生の男性は平均857万円、昨年から152万円増加**

全回答者(1,000名)に、30歳時点の目標年収を聞いたところ、社会人2年生では「500万円～600万円未満」(22.6%)に最も多くの回答が集まったほか、「200万円未満」(12.0%)や「300万円～400万円未満」(16.0%)、「400万円～500万円未満」(15.0%)、「1000万円以上」(13.6%)に回答が分かれ、平均は700万円でした。

社会人2年生の30歳時点の目標年収について、男女別に見ると、平均は男性857万円、女性543万円と、男性のほうが314万円高くなりました。

昨年の調査結果と比較すると、男性では2024年705万円→2025年857万円と152万円増加し、女性では2024年588万円→2025年543万円と45万円減少しました。(p.9)

■ POINT 4**⇒「出世したいと思わない」社会人1年生4割強、2年生5割、2年生女性では6割強**

全回答者(1,000名)に、将来、どの役職まで出世したいか聞いたところ、「課長」が13.3%、「部長」が20.5%、「役員」が13.3%、「社

NEWS LETTER (調査レポート)

長」が7.4%で、合計した『出世したい(計)』は54.5%となり、「出世したいと思わない」は45.5%でした。

年次別にみると、『出世したい(計)』は社会人1年生58.8%、社会人2年生50.2%、「出世したいと思わない」は社会人1年生41.2%、社会人2年生49.8%となりました。

また、男女・年次別にみると、社会人1年生の男性では『出世したい(計)』(71.2%)が7割を超え、社会人2年生の女性では『出世したい(計)』(36.8%)が4割を下回りました。(p.11)

■ POINT 5

⇒社会人1年生・2年生が一緒に働きたくないと思う、嫌いな先輩・上司の特徴 TOP5

「いつもイライラ」「口を開けば悪口・嫌味」「高圧的」「ミスの詰め方がきつい」「傲慢・人を見下す」

全回答者(1,000名)に、一緒に働きたくないと思う、嫌いな先輩・上司の特徴を聞いたところ、「いつもイライラしている」(33.8%)が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「口を開けば悪口・嫌味ばかり」(31.9%)、「高圧的に接してくる」(31.8%)、「ミスの詰め方がきつい」(31.2%)、「傲慢・人を見下す」(30.3%)でした。(p.17)

■ POINT 6

⇒目標にしたい先輩のイメージに合う有名人

男性有名人 1位「大谷翔平さん」、女性有名人 1位「天海祐希さん」

全回答者(1,000名)に、目標にしたい先輩のイメージに合う有名人を聞いたところ、男性有名人では1位「大谷翔平さん」、2位「櫻井翔さん」、3位「木村拓哉さん」となりました。

女性有名人では1位「天海祐希さん」、2位「水戸麻美さん」、3位「有村架純さん」「石原さとみさん」「北川景子さん」「橋本環奈さん」でした。(p.21)

◆アナリストのコメント◆

ソニーフィナンシャル
グループ株式会社
金融市場調査部
シニアアナリスト
森本 淳太郎



春の訪れとともに、新たな道を歩き始めた社会人1年目の皆さま、そして、4月から初めて「先輩」になる社会人2年目の皆さまに対するアンケート調査が今年も行われました。

今回の調査結果を総括するならば、「インフレの影響が色濃く出た結果だった」と言えるでしょう。「社会人1年目にかかった金額」は「身だしなみ」、「自己投資」、「プライベートな付き合い・交際」、「実家に入れた金額」すべての項目で減少しており、節約志向が鮮明になっています(図3)。

日本銀行が昨年12月に行った「生活意識に関するアンケート調査」では、「1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うか」との質問に対する回答が、平均で+11.5%という結果となりました。実際の消費者物価指数(CPI)の上昇率は前年比+3%程度なのですが、コメの価格急騰など、身近なところでインフレが深刻化していることで、実際のインフレ率以上に物価高騰に対する不安が高まっていると考えられます。

こうした中、社会人1・2年生の間でも節約志向が高まっていることは不思議ではありません。アンケート結果では、目標貯蓄額(図6)も上昇しており、この結果からも、「支出を減らし、貯蓄を増やさなければ」という節約志向がうかがえます。

一方で興味深いのは、出世に関する意識調査の結果です。「将来、どの役職まで出世したいか」との質問に対する回答は、45.5%が「出世したいと思わない」と、およそ2人に1人が出世を目指していないことが明らかになりました(図11)。インフレに対して不安を抱えつつ、出世して収入を増やしたいと考える人は多くないようです。

「出世したいと思わない理由」には、「責任が増える」、「ストレスを抱えたくない」、「プライベートの時間が減る」など、負担の増加を懸念する回答が上位に続きます。図11を見ると、社会人1年目から2年目にかけて「出世したいと思わない」の割合が大きく増加しており、上司の姿を見て「割に合わない」と考えた人が増えたのかもしれない。

とはいえ、出世に対する意識の低さが、仕事に対する意識の低さに繋がっているというわけではありません。「仕事のモチベーションが上がるのはどのようなとき?」との質問に対する回答は、社会人2年目では「新しいスキルが身につく」が最多となっており、1年間の自身の成長に対する手ごたえが、モチベーションに繋がっているということがわかります(図20)。

今年の春闘は昨年を上回る強い結果となり、今後も企業の間では優秀な人材を求めて賃上げの動きが高まっていくことが予想されます。「コスパ・タイパ」重視の若年層でも魅力的に感じるほどの給与水準となれば、出世を目指す新入社員の割合も増えてくるかもしれません。また、「あの人のような先輩・上司になりたい」と思ってもらえるよう、私たち先輩社員も努力する必要があります。くれぐれも、「一緒に働きたくないと思う、嫌いな先輩・上司の特徴」(図18)に当てはまるような先輩にはならないよう、気を付けたいものです。

NEWS LETTER (調査レポート)

社会人1年目と2年目の意識調査 2025

このたび、ソニー生命保険株式会社(代表取締役社長 高橋 薫)は、2025年2月28日～3月10日の11日間、2025年春(4月)から働き始める社会人1年生、または、就職してから1年が経つ社会人2年生で20～29歳の男女に対し、今年で12回目となる「社会人1年目と2年目の意識調査」をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効サンプルの集計結果を公開しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

【社会人1年目の金銭事情】

社会人1年生が希望する初任給の使いみち、社会人2年生が経験した実際の使いみちともにTOP3は「貯蓄」「生活費」「自分にちょっと良い物を買う」

社会人1年目にかかった金額

「身だしなみ」平均44,078円、「自己投資」平均22,333円、「プライベートな付き合い・交際」平均193,693円、「実家に入れた金額」平均144,074円 儉約志向の高まりかすべての項目で昨年調査から減少する結果に

社会人1年目に貯蓄した金額 平均52万円、昨年調査から3万円増加

30歳時点の目標貯蓄額 社会人1年生では平均963万円、社会人2年生では平均1012万円

30歳時点の目標年収 社会人1年生では平均726万円、社会人2年生では平均700万円
社会人2年生の男性は平均857万円、昨年調査から152万円増加

【社会人1年生・2年生の仕事観】

社会人1年生・2年生の出世意欲 「出世したい」は5割半、社会人1年生の男性では7割強

出世したいと思わない理由 1位「責任が増える」2位「ストレスを抱えたくない」3位「自分には向いていない」

社会人2年生が、社会人1年目に職場でドン引きしたこと

1位「社内の人間関係がギクシャクしていた」2位「ハラスメントを受けた・見聞きした」
3位「仕事内容が事前に聞いていたことと違った」

【社会人1年生・2年生の感覚】

“生成AIによる生成物をそのまま使用する” 社会人1年生・2年生の約6割が「ナシ」と回答
男性では約5割が「アリ」

“場の空気を読まずに発言する” 社会人1年生・2年生の6割半が「ナシ」と回答
男性では4割半が「アリ」

「完全テレワーク」と「完全出社」、どちらか一方を選ぶなら？

社会人1年生・2年生の6割が「完全出社」を希望

NEWS LETTER (調査レポート)

【社会人1年生・2年生の先輩・上司に対する意識】

社会人1年生・2年生と一緒に働きたくないと思う、嫌いな先輩・上司の特徴TOP5

「いつもイライラ」「口を開けば悪口・嫌味」「高圧的」「ミスの詰め方がきつい」「傲慢・人を見下す」

社会人1年生・2年生が先輩に言われたらやる気を奪われるセリフ

1位「この仕事向いてないんじゃない？」2位「なんでできないかな？」3位「私が若いころは〇〇だったのに」

【社会人1年生・2年生のモチベーションと生きがい】

仕事のモチベーションが上がるのはどのようなとき？

1位「先輩・上司に褒められる」2位「新しいスキルが身につく」3位「先輩・上司に努力を認められる」

社会人2年生では「新しいスキルが身につく」が1位

社会人1年生・2年生の生きがいTOP3「趣味・レジャー」「友人との交流」「貯金・資産運用」

男性では「貯金・資産運用」が2位

【社会人のイメージと有名人】

目標にしたい先輩のイメージに合う男性有名人 男性回答1位「大谷翔平さん」、女性回答1位「櫻井翔さん」

目標にしたい先輩のイメージに合う女性有名人 男性回答・女性回答ともに1位「天海祐希さん」

一緒に頑張りたい同期のイメージに合う男性有名人

1位「目黒蓮さん」2位「高橋文哉さん」3位「大橋和也さん」

一緒に頑張りたい同期のイメージに合う女性有名人

1位「永野芽郁さん」2位「芦田愛菜さん」3位「橋本環奈さん」

NEWS LETTER (調査レポート)

アンケート調査結果

◆社会人1年生が希望する初任給の使いみち、社会人2年生が経験した実際の使いみちともにTOP3は「貯蓄」「生活費」「自分にちょっと良い物を買う」

2025年春(4月)から働き始める社会人1年生500名と、就職してから1年が経つ社会人2年生500名に、社会人1年目のお金の使い方について質問しました。

はじめに、社会人1年生(500名)に、初任給はどのようなことに使いたいか聞いたところ、「貯蓄に回す」(35.8%)が最も高くなり、「生活費(食費など)に充てる」(26.8%)、「自分にちょっと良い物を買う」(23.4%)、「親をご馳走につれていく」(22.8%)、「親への贈り物を買う」(21.0%)と続きました。

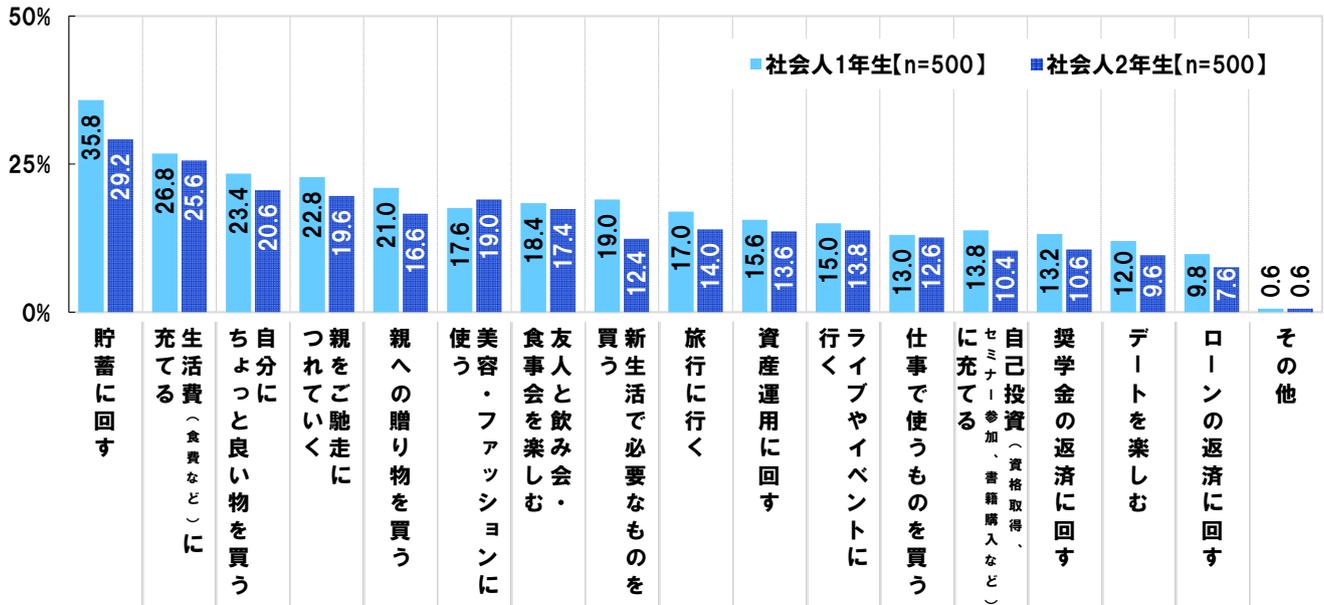
次に、社会人2年生(500名)に、初任給はどのようなことに使ったか聞いたところ、「貯蓄に回す」(29.2%)が最も高くなり、「生活費(食費など)に充てる」(25.6%)、「自分にちょっと良い物を買う」(20.6%)、「親をご馳走につれていく」(19.6%)、「美容・ファッションに使う」(19.0%)と続きました。

社会人1年生と2年生の回答を比較すると、「貯蓄に回す」(社会人1年生35.8%、社会人2年生29.2%)、「新生活に必要なものを買う」(社会人1年生19.0%、社会人2年生12.4%)では、社会人2年生が経験した実際の使いみちより社会人1年生が考える希望の使いみちのほうが5ポイント以上高くなりました。(図1)

(図1)

◆[社会人1年生]初任給はどのようなことに使いたいか [複数回答形式]

◆[社会人2年生]初任給はどのようなことに使ったか [複数回答形式]



NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人1年目にかかった金額

「身だしなみ」平均 44,078 円、「自己投資」平均 22,333 円、「プライベートな付き合い・交際」平均 193,693 円、「実家に入れた金額」平均 144,074 円 儉約志向の高まりかすべての項目で昨年調査から減少する結果に

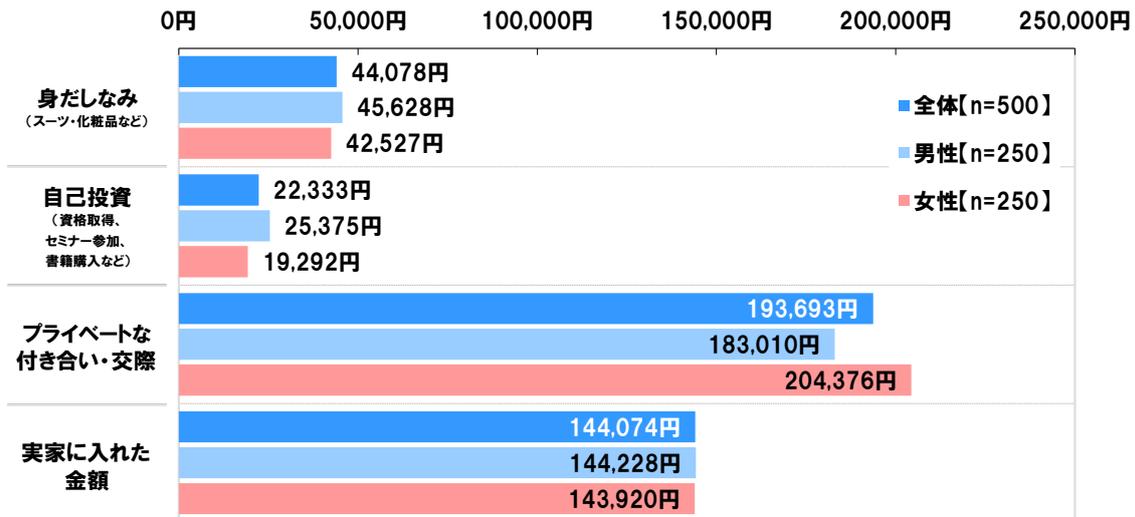
社会人2年生(500名)に、社会人1年目の生活でかかったお金について質問しました。

かかった金額の平均をみると、《身だしなみ(スーツ・化粧品など)》では44,078円、《自己投資(資格取得、セミナー参加、書籍購入など)》では22,333円、《プライベートな付き合い・交際》では193,693円、《実家に入れた金額》では144,074円となりました。

男女別にみると、かかった金額の平均は、《プライベートな付き合い・交際》では男性183,010円、女性204,376円と、男性と比べて女性のほうが21,366円高くなりました。(図2)

(図2)

◆社会人1年目の生活でかかったお金 [各数値入力形式] ※社会人2年生の平均を表示

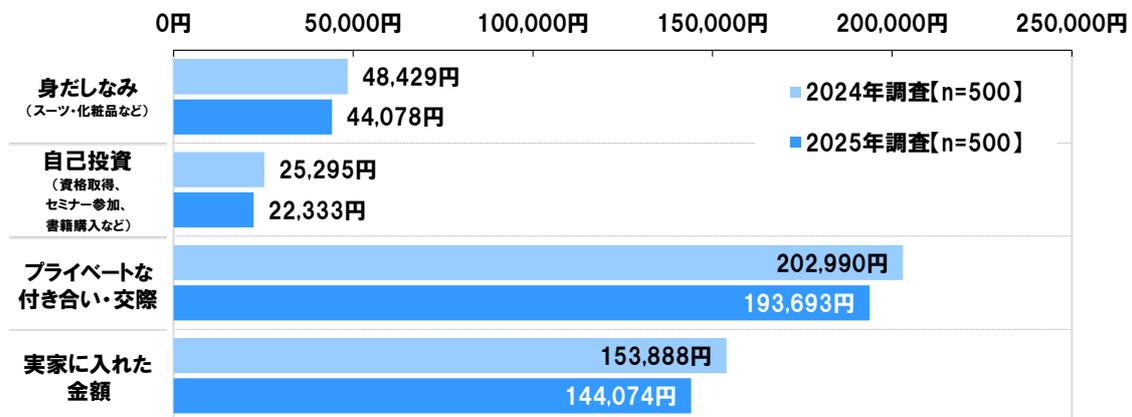


NEWS LETTER (調査レポート)

昨年の調査結果と比較すると、かかった金額の平均は、《身だしなみ(スーツ・化粧品など)》では4,351円の減少(2024年48,429円→2025年44,078円)、《自己投資(資格取得、セミナー参加、書籍購入など)》では2,962円の減少(2024年25,295円→2025年22,333円)、《プライベートな付き合い・交際》では9,297円の減少(2024年202,990円→2025年193,693円)、《実家に入れた金額》では9,814円の減少(2024年153,888円→2025年144,074円)と、すべての項目において減少しました。物価高騰による生活不安から節約志向が高まり、消費支出が抑制される傾向にあるのではないのでしょうか。(図3)

(図3) **経年調査**

◆社会人1年目の生活でかかったお金 [各数値入力形式] ※社会人2年生の平均を表示



NEWS LETTER (調査レポート)

◆**社会人1年目に貯蓄した金額 平均 52 万円、昨年調査から 3 万円増加**

◆**30 歳時点の目標貯蓄額 社会人 1 年生では平均 963 万円、社会人 2 年生では平均 1012 万円**

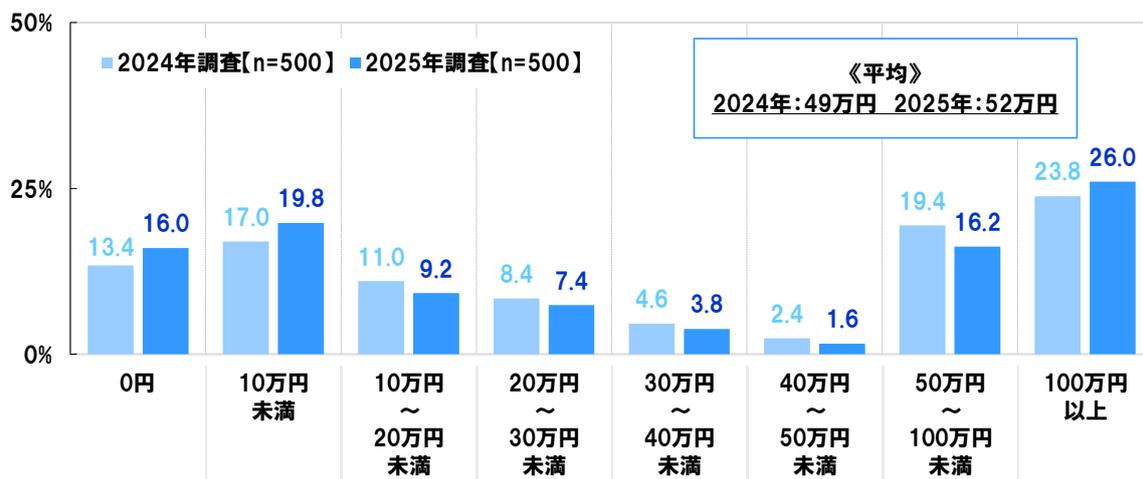
貯蓄や収入について質問しました。

社会人2年生(500名)に、社会人1年目の生活で貯蓄した金額を聞いたところ、「100万円以上」(26.0%)に最も多くの回答が集まったほか、「0円」(16.0%)、「10万円未満」(19.8%)、「50万円～100万円未満」(16.2%)に回答が分かれ、平均は52万円でした。

昨年の調査結果と比較すると、社会人1年目の生活で貯蓄した金額の平均は2024年49万円→2025年52万円と3万円増加しました。消費支出を減らし貯蓄を増やそうとする貯蓄志向の高まりが見て取れます。(図4)

(図4) **経年調査**

◆**社会人1年目の生活で貯蓄した金額 [数値入力形式] 対象:社会人2年生**

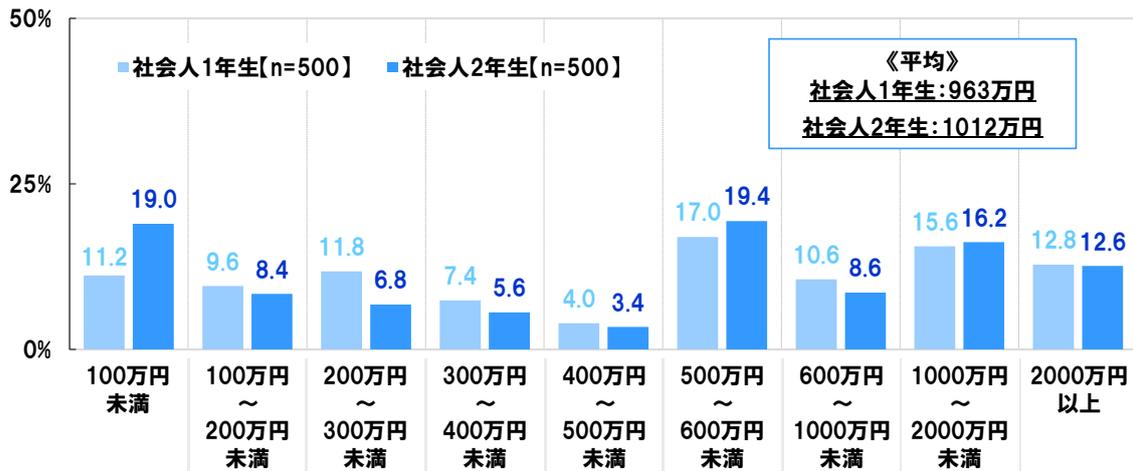


NEWS LETTER (調査レポート)

次に、全回答者(1,000名)に、30歳時点の目標貯蓄額を聞いたところ、社会人1年生では「500万円～600万円未満」(17.0%)や「1000万円～2000万円未満」(15.6%)に回答が集まり、平均は963万円、社会人2年生では「100万円未満」(19.0%)や「500万円～600万円未満」(19.4%)、「1000万円～2000万円未満」(16.2%)に回答が分かれ、平均は1012万円となりました。(図5)

(図5)

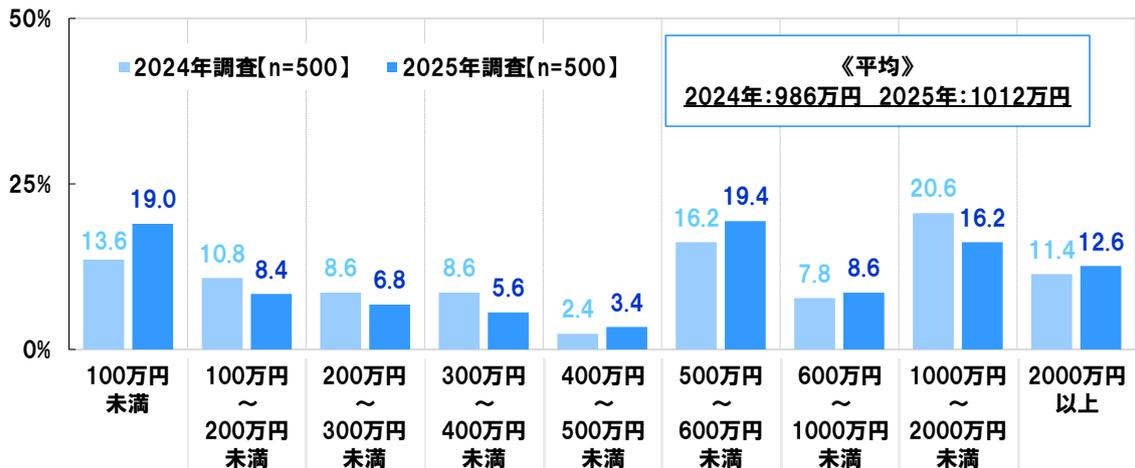
◆30歳時点の目標貯蓄額 [数値入力形式]



社会人2年生の30歳時点の目標貯蓄額について、昨年の調査結果と比較すると、目標貯蓄額の平均は、2024年986万円→2025年1012万円と26万円増加しました。(図6)

(図6) 経年調査

◆30歳時点の目標貯蓄額 [数値入力形式] 対象:社会人2年生



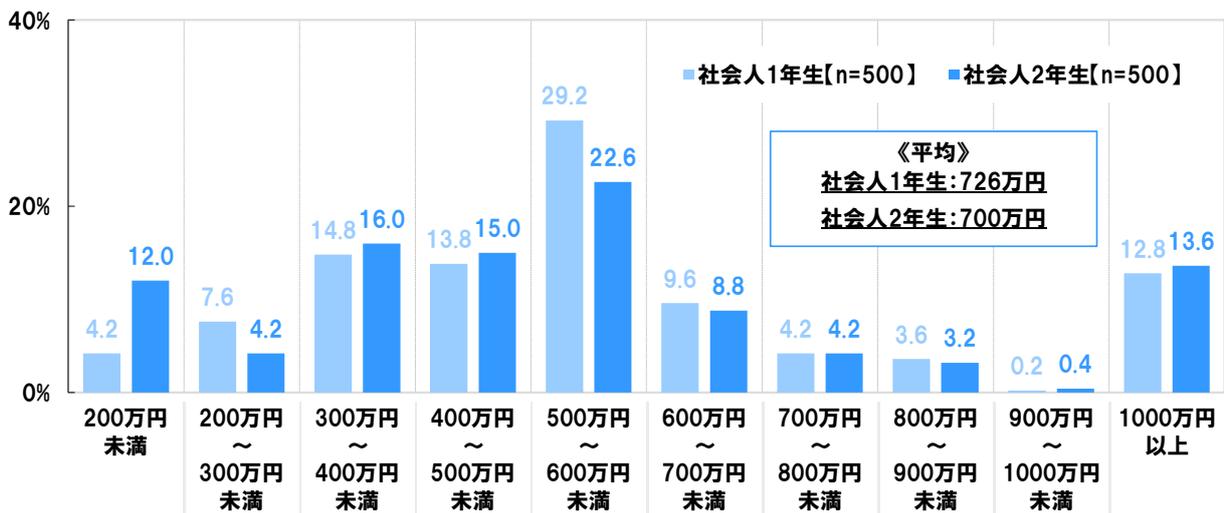
NEWS LETTER (調査レポート)

◆30歳時点の目標年収 社会人1年生では平均726万円、社会人2年生では平均700万円 社会人2年生の男性は平均857万円、昨年調査から152万円増加

全回答者(1,000名)に、30歳時点の目標年収を聞いたところ、社会人1年生では「500万円～600万円未満」(29.2%)に最も多くの回答が集まったほか、「300万円～400万円未満」(14.8%)や「400万円～500万円未満」(13.8%)、「1000万円以上」(12.8%)に回答が分かれ、平均は726万円でした。社会人2年生では「500万円～600万円未満」(22.6%)に最も多くの回答が集まったほか、「200万円未満」(12.0%)や「300万円～400万円未満」(16.0%)、「400万円～500万円未満」(15.0%)、「1000万円以上」(13.6%)に回答が分かれ、平均は700万円でした。平均は、社会人1年生(726万円)が社会人2年生(700万円)と比べて26万円高くなりました。(図7)

(図7)

◆30歳時点の目標年収 [数値入力形式]



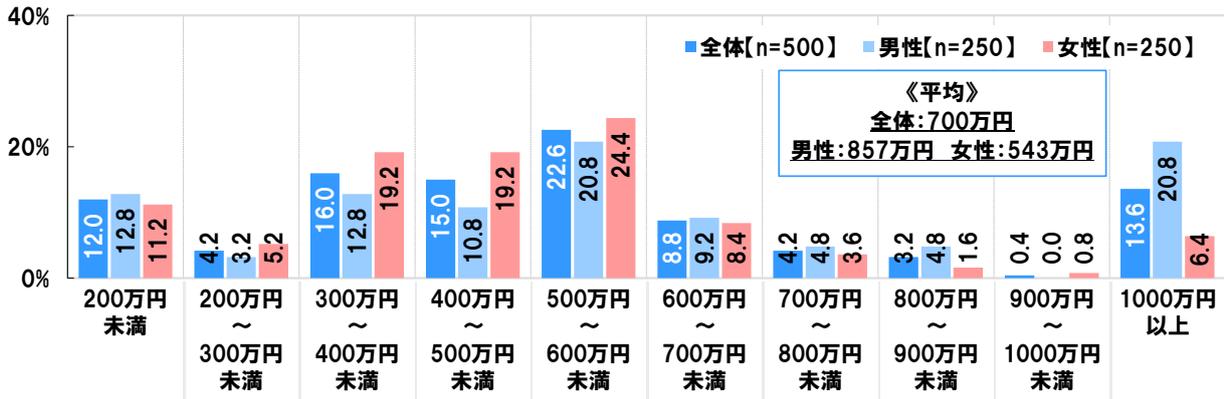
NEWS LETTER (調査レポート)

社会人2年生の30歳時点の目標年収について、男女別にみると、平均は男性857万円、女性543万円と、男性のほうが314万円高くなりました。(図8)

昨年の調査結果と比較すると、男性では2024年705万円→2025年857万円と152万円増加し、女性では2024年588万円→2025年543万円と45万円減少しました。(図9)

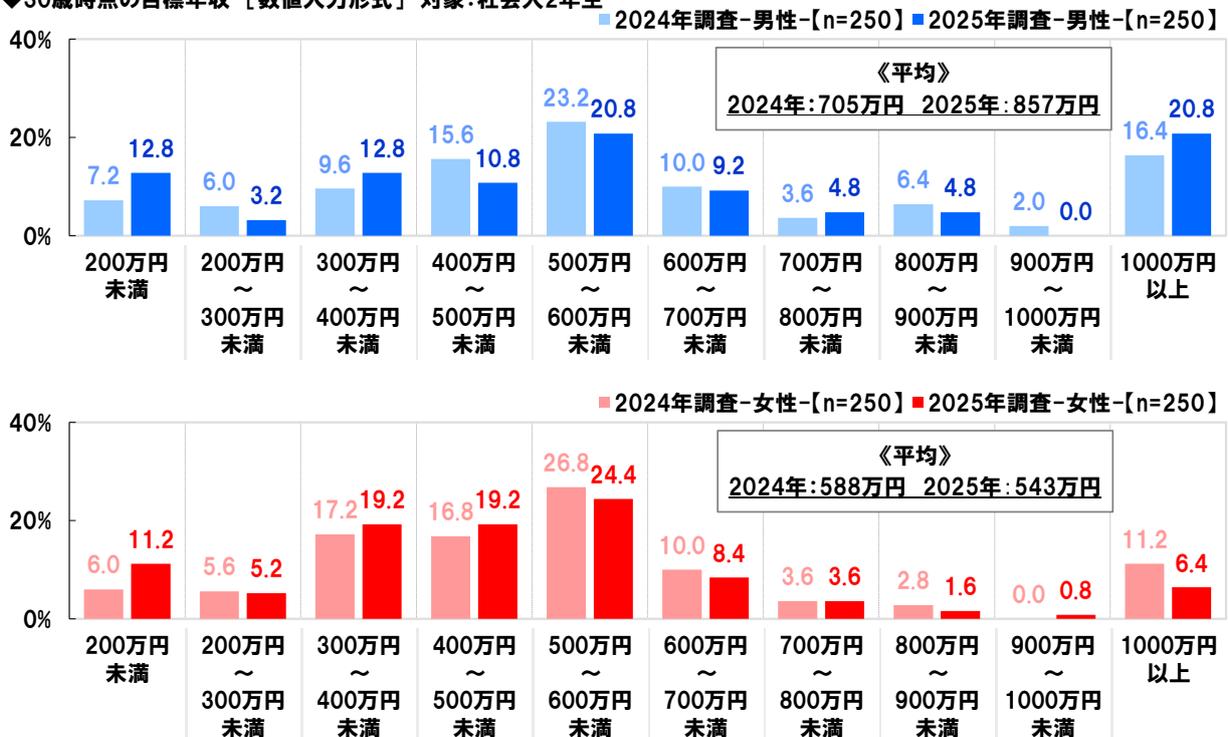
(図8)

◆30歳時点の目標年収 [数値入力形式] 対象:社会人2年生



(図9) 経年調査

◆30歳時点の目標年収 [数値入力形式] 対象:社会人2年生

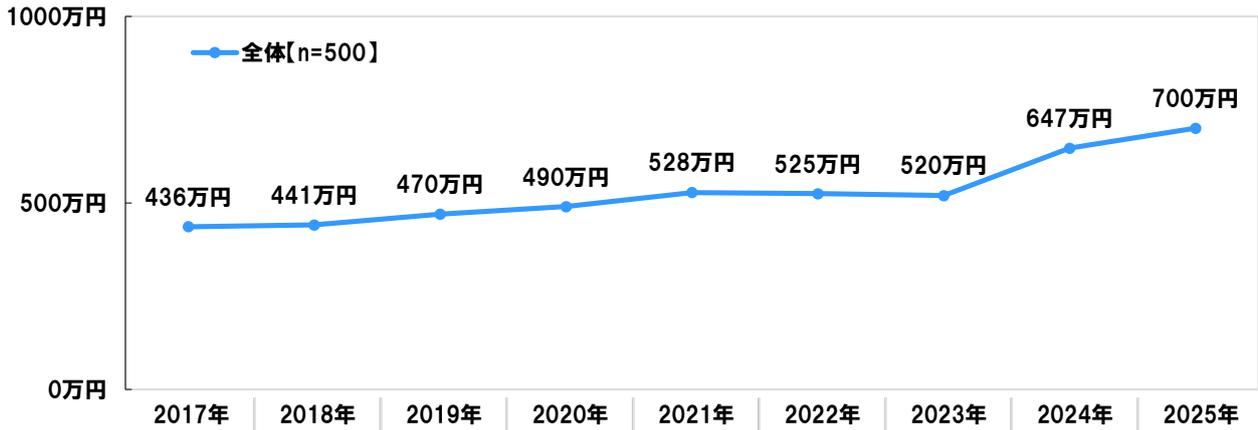


NEWS LETTER (調査レポート)

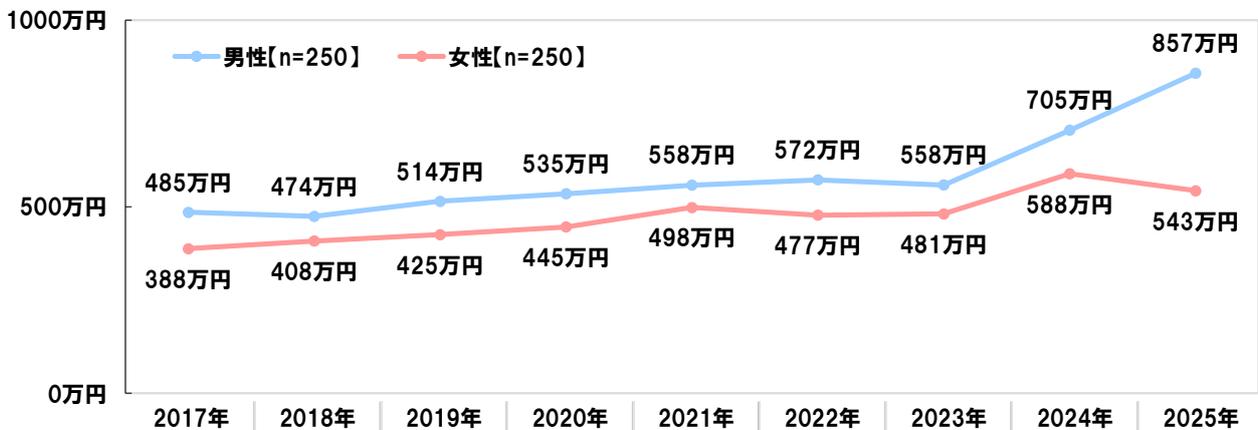
また、この質問を聴取開始した2017年の調査結果と比較すると、平均は全体では2017年436万円→2025年700万円と264万円増加、男性では2017年485万円→2025年857万円と372万円増加、女性では2017年388万円→2025年543万円と155万円増加と、いずれも大幅な増加がみられました。(図10)

(図10) **経年調査**

◆30歳時点の目標年収 [数値入力形式] ※社会人2年生の平均を表示



◆30歳時点の目標年収 [数値入力形式] ※社会人2年生の平均を表示



NEWS LETTER (調査レポート)

- ◆ **社会人1年生・2年生の出世意欲「出世したい」は5割半、社会人1年生の男性では7割強**
- ◆ **出世したいと思わない理由 1位「責任が増える」2位「ストレスを抱えたくない」3位「自分には向いていない」**

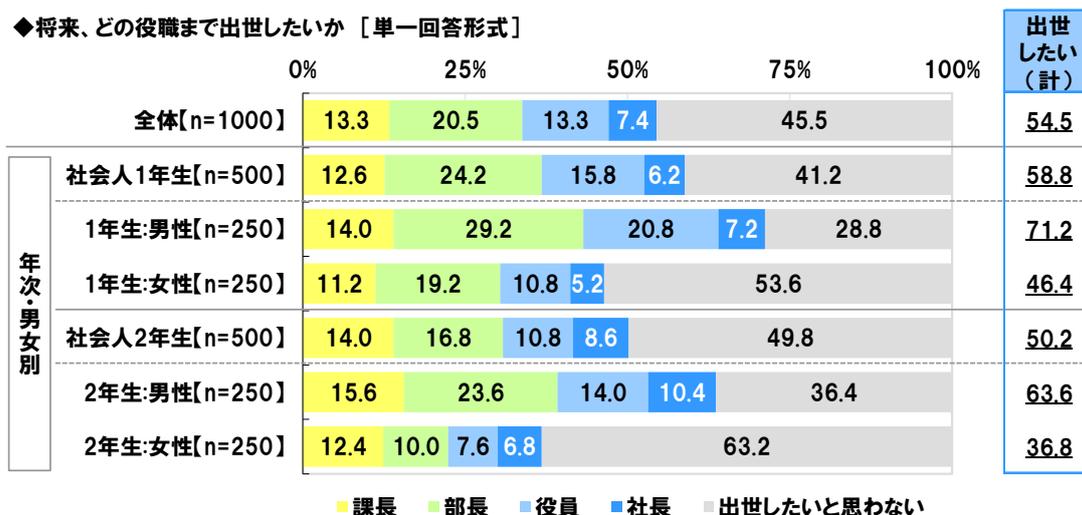
出世に関する意識について質問しました。

全回答者(1,000名)に、将来、どの役職まで出世したいか聞いたところ、「課長」が13.3%、「部長」が20.5%、「役員」が13.3%、「社長」が7.4%で、合計した『出世したい(計)』は54.5%となり、「出世したいと思わない」は45.5%でした。

年次別にみると、『出世したい(計)』は社会人1年生58.8%、社会人2年生50.2%、「出世したいと思わない」は社会人1年生41.2%、社会人2年生49.8%となりました。

また、男女・年次別にみると、社会人1年生の男性では『出世したい(計)』(71.2%)が7割を超え、社会人2年生の女性では『出世したい(計)』(36.8%)が4割を下回りました。(図11)

(図 11)



NEWS LETTER (調査レポート)

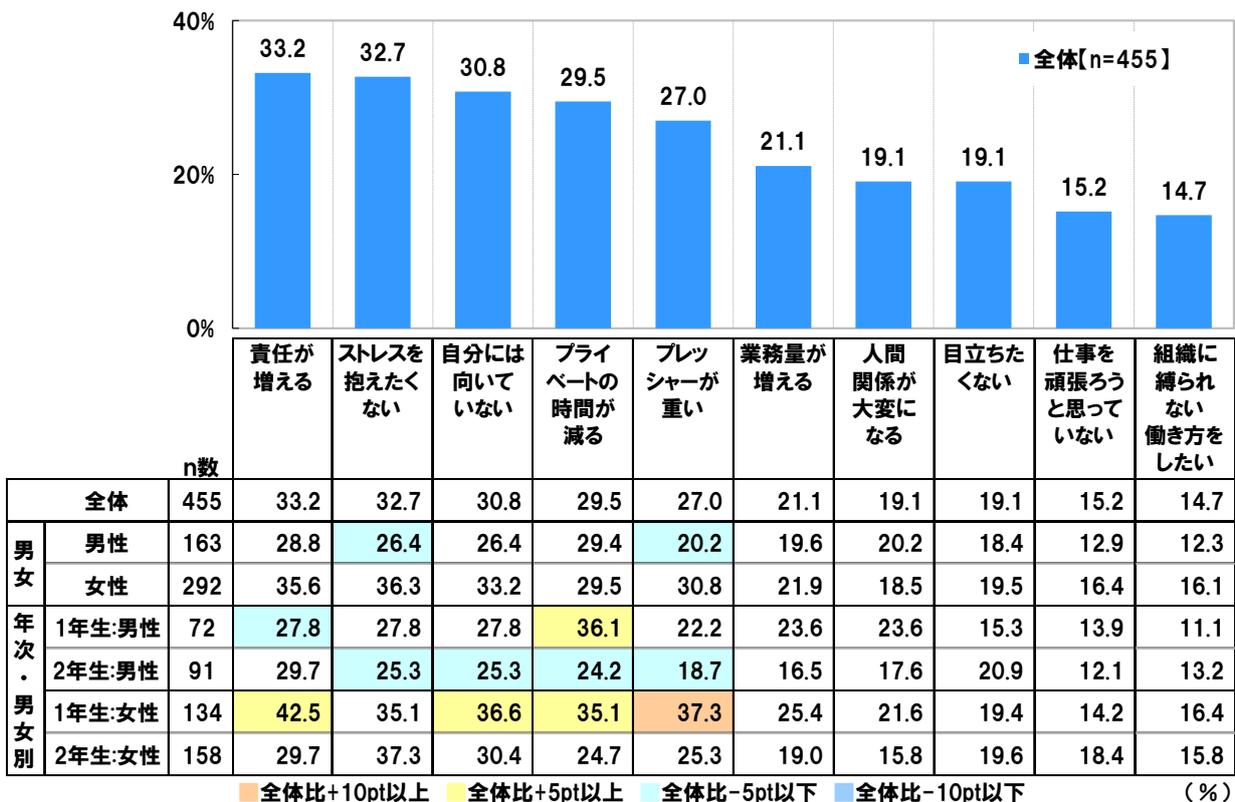
出世したいと思わない人(455名)に、出世したいと思わない理由を聞いたところ、「責任が増える」(33.2%)が最も高くなり、「ストレスを抱えたくない」(32.7%)、「自分には向いていない」(30.8%)、「プライベートの時間が減る」(29.5%)、「プレッシャーが重い」(27.0%)が続きました。

男女別にみると、女性では「責任が増える」(35.6%)や「ストレスを抱えたくない」(36.3%)、「自分には向いていない」(33.2%)、「プレッシャーが重い」(30.8%)が3割を上回り、男性では「プライベートの時間が減る」(29.4%)が最も高くなりました。

男女・年次別にみると、社会人1年生の女性では、TOP2は「責任が増える」(42.5%)と「プレッシャーが重い」(37.3%)となり、責任の重さや周囲から受ける重圧などを理由に、管理職への昇格を敬遠したいと考える人が多いと明らかになりました。また、社会人2年生の女性では、TOP2は「ストレスを抱えたくない」(37.3%)と「自分には向いていない」(30.4%)となりました。社会人2年生の女性の63.2%が「出世したいと思わない」と回答しており、管理職に就くことによる精神的負荷の大きさや、自身の管理職の適性について懸念する人が多いのではないのでしょうか。(図12)

(図 12)

◆出世したいと思わない理由【複数回答形式】 ※上位10位までを表示
 対象:出世したいと思わない人



NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人2年生が、社会人1年目に職場でドン引きしたこと

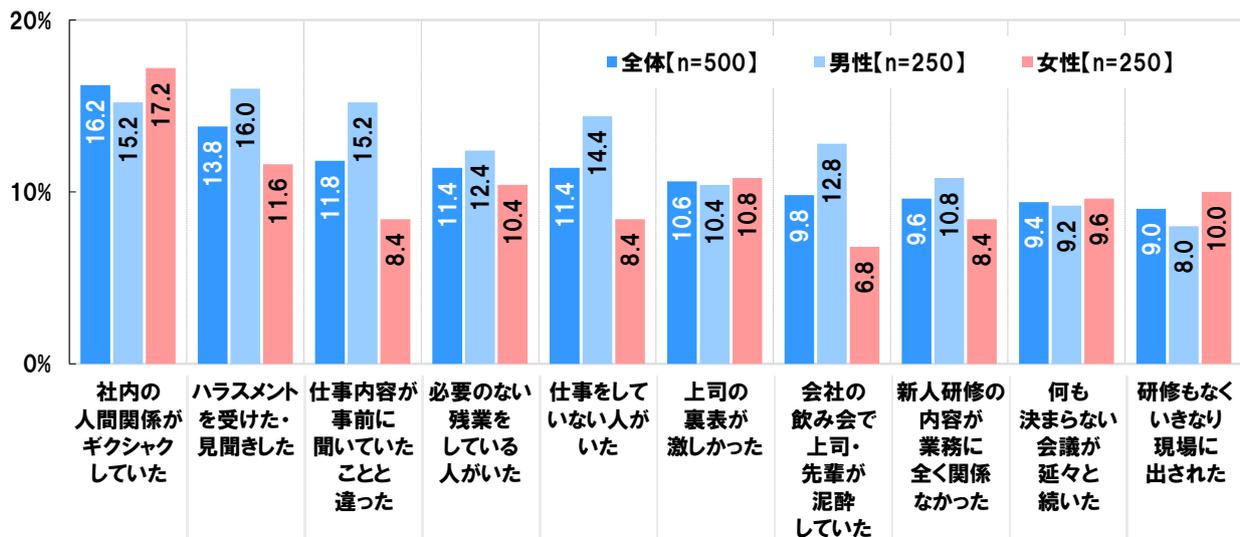
- 1位「社内の人間関係がギクシャクしていた」2位「ハラスメントを受けた・見聞きした」
 3位「仕事内容が事前に聞いていたことと違った」

社会人2年生(500名)に、社会人1年目に職場でドン引きしたことを聞いたところ、「社内の人間関係がギクシャクしていた」(16.2%)が最も高くなり、「ハラスメントを受けた・見聞きした」(13.8%)が続きました。次いで高くなったのは、「仕事内容が事前に聞いていたことと違った」(11.8%)、「必要のない残業をしている人がいた」「仕事をしていない人がいた」(いずれも11.4%)でした。

男女別にみると、「仕事内容が事前に聞いていたことと違った」(男性15.2%、女性8.4%)や「仕事をしていない人がいた」(男性14.4%、女性8.4%)、「会社の飲み会で上司・先輩が泥酔していた」(男性12.8%、女性6.8%)は、女性と比べて男性のほうが5ポイント以上高くなりました。(図13)

(図13)

◆社会人1年目に職場でドン引きしたこと【複数回答形式】 対象：社会人2年生 ※上位10位までを表示



NEWS LETTER (調査レポート)

◆“生成 AI による生成物をそのまま使用する” 社会人 1 年生・2 年生の約 6 割が「ナシ」と回答

男性では約 5 割が「アリ」

◆“場の空気を読まずに発言する” 社会人 1 年生・2 年生の 6 割半が「ナシ」と回答

男性では 4 割半が「アリ」

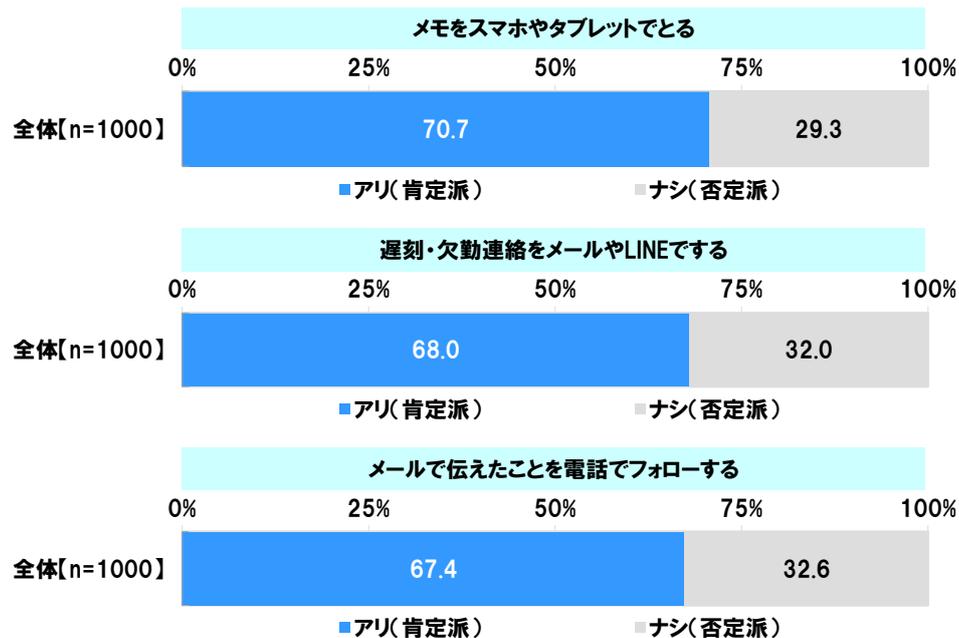
社会人としての“常識”・“非常識”に対する意識について質問しました。

全回答者(1,000名)に、職場での行動について、それぞれ社会人として「アリ」だと思うか、「ナシ」だと思うかを聞きました。

《メモをスマホやタブレットでとる》では「アリ」は70.7%、「ナシ」は29.3%、《遅刻・欠勤連絡をメールやLINEでする》では「アリ」は68.0%、「ナシ」は32.0%、《メールで伝えたことを電話でフォローする》では「アリ」は67.4%、「ナシ」は32.6%となりました。(図14)

(図 14)

◆「アリ」だと思うか、「ナシ」だと思うか [各単一回答形式]



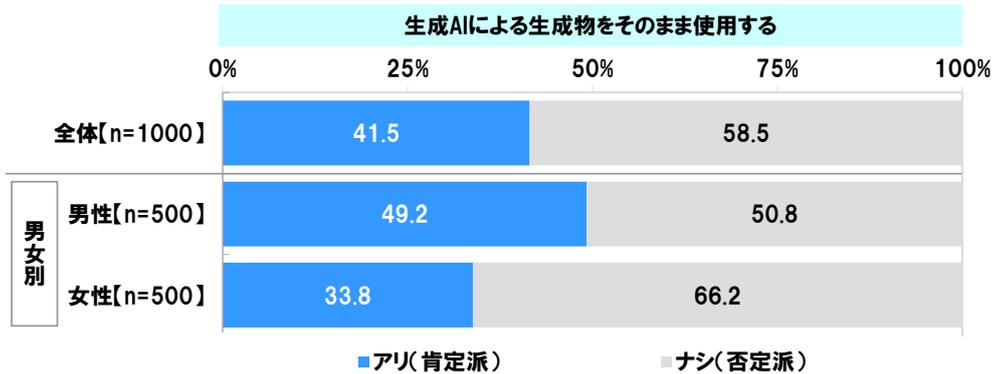
NEWS LETTER (調査レポート)

《生成AIによる生成物をそのまま使用する》では、「アリ」は41.5%、「ナシ」は58.5%となりました。

男女別にみると、男性では「アリ」は49.2%と、半数近くが生成AIによる生成物をそのまま使用することを問題視していないことがわかりました。一方、女性では「アリ」は33.8%でした。（図15）

(図 15)

◆「アリ」だと思うか、「ナシ」だと思うか [単一回答形式]

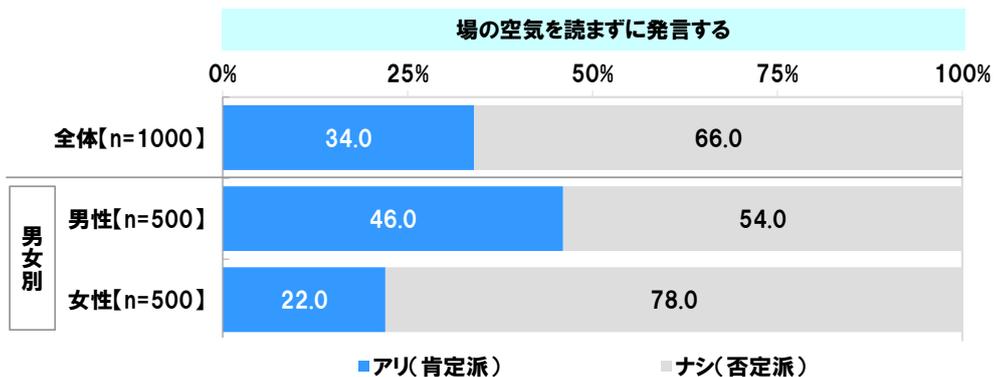


《場の空気を読まずに発言する》では、「アリ」は34.0%、「ナシ」は66.0%となりました。

男女別にみると、「アリ」は男性では46.0%、女性では22.0%と24.0ポイントの差がみられました。（図16）

(図 16)

◆「アリ」だと思うか、「ナシ」だと思うか [単一回答形式]



NEWS LETTER (調査レポート)

◆「完全テレワーク」と「完全出社」、どちらか一方を選ぶなら？

社会人1年生・2年生の6割が「完全出社」を希望

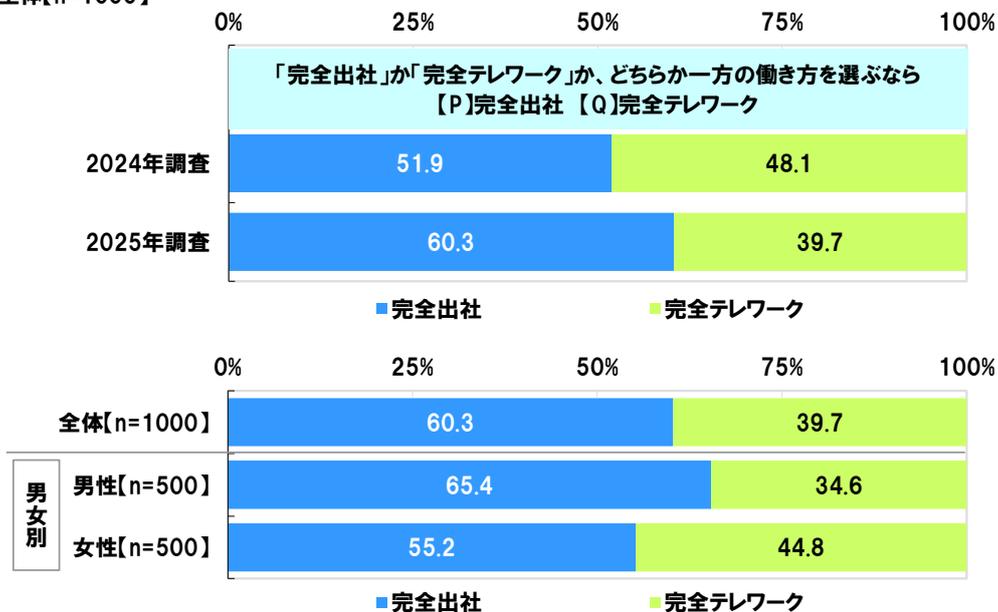
全回答者(1,000名)に、「完全出社」か「完全テレワーク」か、どちらか一方の働き方を選ぶならどちらを選ぶか聞いたところ、「完全出社」は60.3%、「完全テレワーク」は39.7%となりました。

男女別にみると、「完全出社」と回答した人の割合は、男性では65.4%と、女性(55.2%)と比べて10ポイント以上高くなりました。

昨年の調査結果と比較すると、「完全出社」と回答した人の割合は、2024年51.9%→2025年60.3%と8.4ポイント上昇しました。(図17)

(図17) **経年調査**

◆働き方について、どちらにあてはまるか [単一回答形式]
 全体[n=1000]



NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人1年生・2年生と一緒に働きたくないと思う、嫌いな先輩・上司の特徴 TOP5

「いつもイライラ」「口を開けば悪口・嫌味」「高圧的」「ミスの詰め方がきつい」「傲慢・人を見下す」

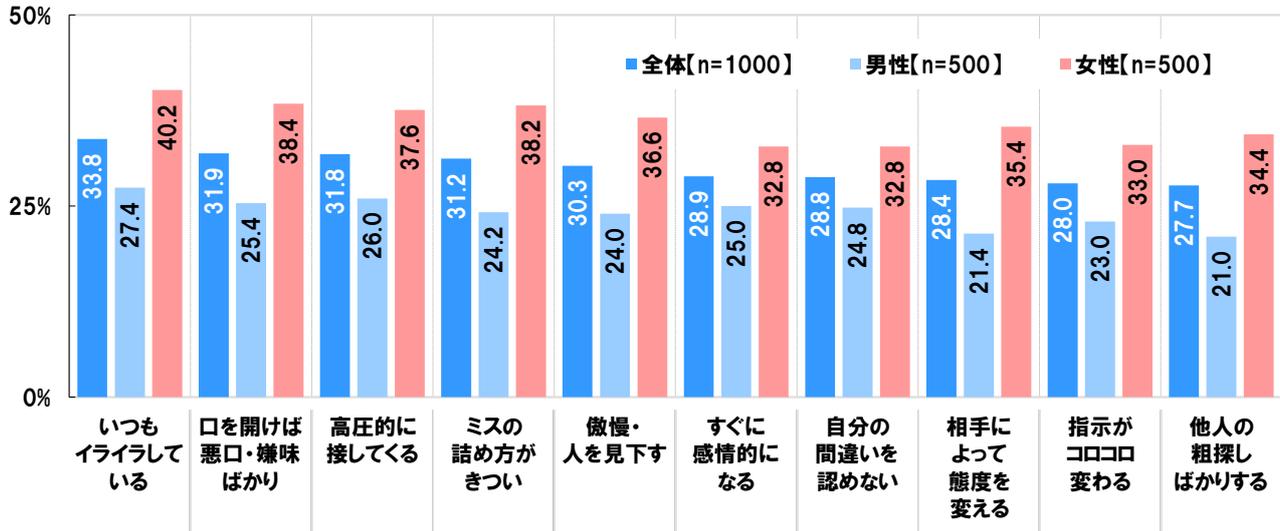
社会人1年生・2年生は先輩・上司の言動に対してどのように考えているのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、一緒に働きたくないと思う、嫌いな先輩・上司の特徴を聞いたところ、「いつもイライラしている」(33.8%)が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「口を開けば悪口・嫌味ばかり」(31.9%)、「高圧的に接してくる」(31.8%)、「ミスの詰め方がきつい」(31.2%)、「傲慢・人を見下す」(30.3%)でした。

男女別にみると、女性は上位10項目のすべてで3割以上となり、「いつもイライラしている」(40.2%)では4割を上回りました。(図18)

(図 18)

◆一緒に働きたくないと思う、嫌いな先輩・上司の特徴 [複数回答形式] ※上位10位までを表示



NEWS LETTER (調査レポート)

◆社会人1年生・2年生が先輩に言われたらやる気を奪われるセリフ

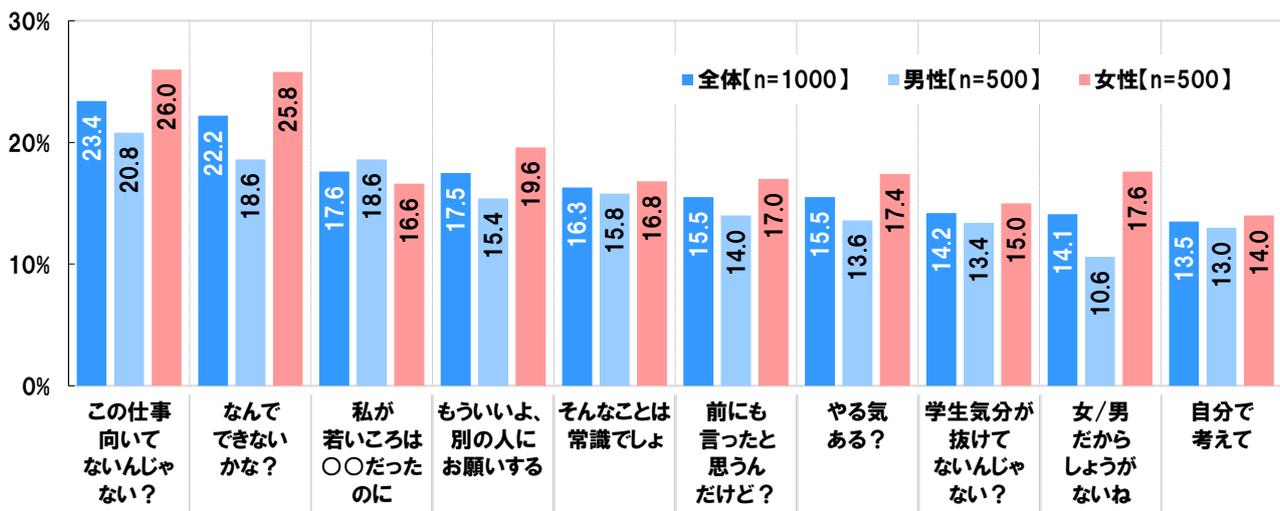
1位「この仕事向いてないんじゃない？」2位「なんでできないかな？」3位「私が若いころは〇〇だったのに」

全回答者(1,000名)に、先輩社会人に言われたら、やる気が奪われてしまうセリフを聞いたところ、「この仕事向いてないんじゃない？」(23.4%)が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「なんでできないかな？」(22.2%)、「私が若いころは〇〇だったのに」(17.6%)、「もういいよ、別の人をお願いする」(17.5%)、「そんなことは常識でしょ」(16.3%)でした。適性や能力を強く否定されるような言葉にモチベーションが下がってしまう人は少なくないようです。

男女別にみると、「この仕事向いてないんじゃない？」(男性20.8%、女性26.0%)や「なんでできないかな？」(男性18.6%、女性25.8%)、「女/男だからしょうがないね」(男性10.6%、女性17.6%)は、男性と比べて女性のほうが5ポイント以上高くなりました。(図19)

(図19)

◆先輩社会人に言われたら、やる気が奪われてしまうセリフ [複数回答形式(3つまで)] ※上位10位までを表示



NEWS LETTER (調査レポート)

◆仕事のモチベーションが上がるのはどのようなとき？

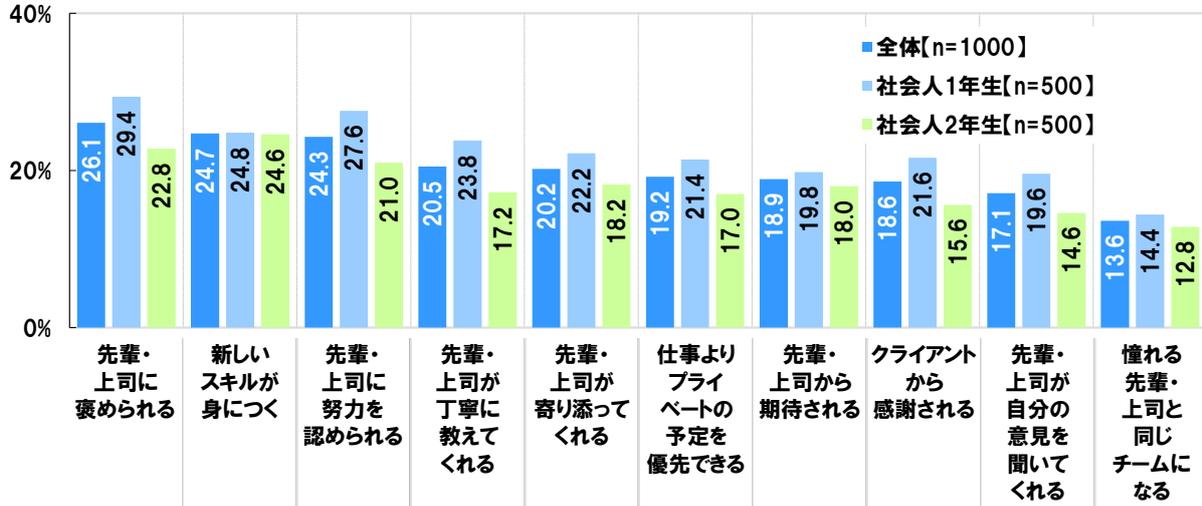
1位「先輩・上司に褒められる」2位「新しいスキルが身につく」3位「先輩・上司に努力を認められる」
社会人2年生では「新しいスキルが身につく」が1位

全回答者(1,000名)に、どのようなときに仕事のモチベーションが上がるか聞いたところ、「先輩・上司に褒められる」(26.1%)が最も高くなり、「新しいスキルが身につく」(24.7%)、「先輩・上司に努力を認められる」(24.3%)、「先輩・上司が丁寧に教えてくれる」(20.5%)、「先輩・上司が寄り添ってくれる」(20.2%)が続きました。

年次別にみると、「先輩・上司に褒められる」(社会人1年生29.4%、社会人2年生22.8%)や「先輩・上司に努力を認められる」(社会人1年生27.6%、社会人2年生21.0%)、「先輩・上司が丁寧に教えてくれる」(社会人1年生23.8%、社会人2年生17.2%)、「クライアントから感謝される」(社会人1年生21.6%、社会人2年生15.6%)、「先輩・上司が自分の意見を聞いてくれる」(社会人1年生19.6%、社会人2年生14.6%)は、2年生と比べて1年生のほうが5ポイント以上高くなりました。社会人1年生では、自身の仕事ぶりや仕事の成果が先輩・上司やクライアントから認められる、高く評価されることで、やる気に火がつくというケースが多そうです。また、2年生では「新しいスキルが身につく」(24.6%)が最も高くなりました。社会人2年生は、実際に働いてみて、スキルアップがモチベーションにつながることを実感したのではないのでしょうか。(図20)

(図 20)

◆どのようなときに仕事のモチベーションが上がるか【複数回答形式】 ※上位10位までを表示



NEWS LETTER (調査レポート)

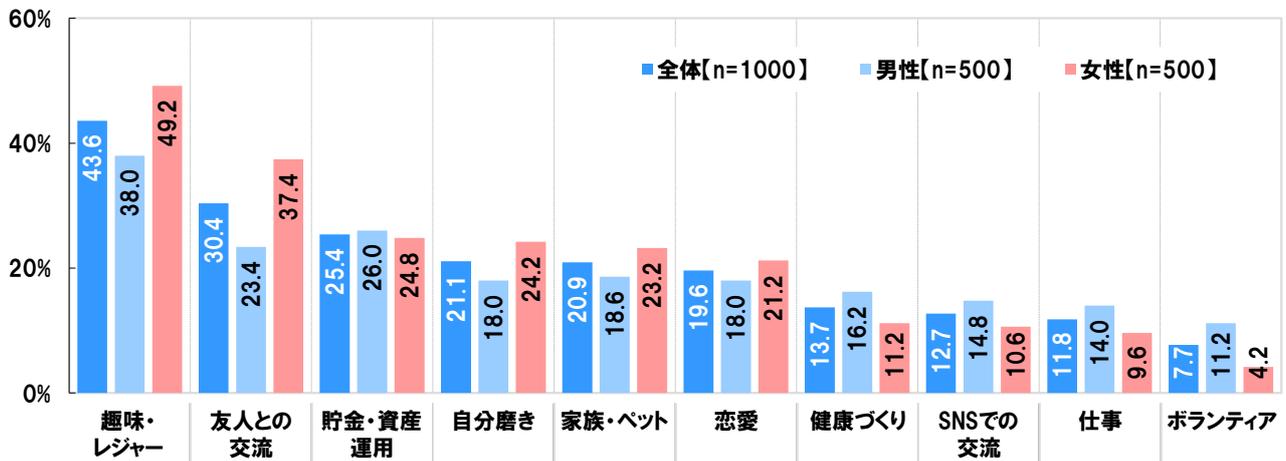
◆社会人1年生・2年生の生きがいTOP3 「趣味・レジャー」「友人との交流」「貯金・資産運用」 男性では「貯金・資産運用」が2位

全回答者(1,000名)に、自身にとっての“生きがい”を聞いたところ、「趣味・レジャー」(43.6%)が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「友人との交流」(30.4%)、「貯金・資産運用」(25.4%)、「自分磨き」(21.1%)、「家族・ペット」(20.9%)でした。

男女別にみると、女性では「趣味・レジャー」が49.2%と約半数となりました。男性では2位は「貯金・資産運用」(26.0%)でした。また、「友人との交流」(男性23.4%、女性37.4%)は男性と比べて女性のほうが14.0ポイント高くなりました。(図21)

(図 21)

◆自身にとっての“生きがい” [複数回答形式] ※上位10位までを表示



NEWS LETTER (調査レポート)

- ◆目標にしたい先輩のイメージに合う男性有名人 男性回答 1位「大谷翔平さん」、女性回答 1位「櫻井翔さん」
- ◆目標にしたい先輩のイメージに合う女性有名人 男性回答・女性回答ともに 1位「天海祐希さん」

全回答者(1,000名)に、職場の先輩や同期のイメージに合う有名人について質問しました。

目標にしたい先輩のイメージに合う有名人を聞いたところ、男性有名人では1位「大谷翔平さん」、2位「櫻井翔さん」、3位「木村拓哉さん」となりました。ドジャースに移籍後メジャー史上初の“50-50”を達成するなど、前人未到の偉業を成し遂げた大谷翔平さんがトップでした。

男女別にみると、男性回答では1位「大谷翔平さん」、2位「阿部寛さん」「木村拓哉さん」となり、女性回答では1位「櫻井翔さん」、2位「大谷翔平さん」、3位「木村拓哉さん」でした。(図22)

(図22)

◆目標にしたい先輩のイメージに合う男性有名人 [自由回答形式] ※上位10位までを表示

全体(n=1000)			男性(n=500)			女性(n=500)		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	大谷翔平	38	1位	大谷翔平	24	1位	櫻井翔	25
2位	櫻井翔	28	2位	阿部寛	6	2位	大谷翔平	14
3位	木村拓哉	16	3位	木村拓哉	6	3位	木村拓哉	10
4位	目黒蓮	10	4位	明石家さんま	4	4位	目黒蓮	8
5位	内村光良	9	5位	有吉弘行	4	5位	鈴木亮平	7
6位	田中圭	8	6位	内村光良	4	6位	田中圭	7
7位	大泉洋	7	7位	大泉洋	4	7位	阿部亮平	6
8位	鈴木亮平	7	8位	イチロー	3	8位	綾野剛	5
9位	明石家さんま／阿部寛／阿部亮平／綾野剛／竹野内豊	6	9位	櫻井翔	3	9位	内村光良	5
			10位	菅田将暉	3	10位	竹野内豊	4
				タモリ	3		津田健次郎	4
							山田涼介	4

女性有名人では1位「天海祐希さん」、2位「水ト麻美さん」、3位「有村架純さん」「石原さとみさん」「北川景子さん」「橋本環奈さん」でした。凜とした強い女性のイメージがある天海祐希さんに憧れる人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、男性回答・女性回答ともに1位は「天海祐希さん」となり、男性回答では2位「田村真子さん」、3位「水ト麻美さん」、女性回答では2位「水ト麻美さん」、3位「石原さとみさん」でした。(図23)

(図23)

◆目標にしたい先輩のイメージに合う女性有名人 [自由回答形式] ※上位10位までを表示

全体(n=1000)			男性(n=500)			女性(n=500)		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	天海祐希	38	1位	天海祐希	10	1位	天海祐希	28
2位	水ト麻美	26	2位	田村真子	8	2位	水ト麻美	20
3位	有村架純	14	3位	水ト麻美	6	3位	石原さとみ	12
	石原さとみ	14	4位	有村架純	5	4位	北川景子	11
	北川景子	14	5位	橋本環奈	5	5位	有村架純	9
	橋本環奈	14	6位	米倉涼子	5	6位	橋本環奈	9
7位	綾瀬はるか	10	7位	綾瀬はるか	4	7位	川口春奈	8
	米倉涼子	10	8位	永野芽郁	4	8位	新垣結衣	7
9位	新垣結衣	9	9位	いとうあさこ	3	9位	菜々緒	7
	川口春奈	9	10位	北川景子	3	10位	綾瀬はるか	6
	田村真子	9		長澤まさみ	3			

NEWS LETTER (調査レポート)

◆一緒に頑張りたい同期のイメージに合う男性有名人

1位「目黒蓮さん」2位「高橋文哉さん」3位「大橋和也さん」

◆一緒に頑張りたい同期のイメージに合う女性有名人

1位「永野芽郁さん」2位「芦田愛菜さん」3位「橋本環奈さん」

一緒に頑張りたい同期のイメージに合う有名人を聞いたところ、男性有名人では1位「目黒蓮さん」、2位「高橋文哉さん」、3位「大橋和也さん」となりました。

男女別にみると、男性回答では「大谷翔平さん」、女性回答では「大橋和也さん」が1位でした。(図24)

(図 24)

◆一緒に頑張りたい同期のイメージに合う男性有名人 [自由回答形式] ※上位10位までを表示

全体[n=1000]			男性[n=500]			女性[n=500]		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	目黒蓮	14	1位	大谷翔平	9	1位	大橋和也	12
2位	高橋文哉	13	2位	中川大志	7	2位	高橋文哉	11
3位	大橋和也	12	3位	鈴木福	6	3位	目黒蓮	10
4位	大谷翔平	10	4位	菊池風磨	5	4位	赤楚衛二	9
	鈴木福	10		菅田将暉	4	5位	大西流星	7
6位	赤楚衛二	9	5位	なかやまきんに君	4	6位	山崎賢人	6
7位	菅田将暉	8		目黒蓮	4	7位	平野紫耀	5
	山崎賢人	8	8位	永瀬廉	3		道枝駿佑	5
9位	大西流星	7	9位	有吉弘行／岩田剛典／ せいや／粗品／ 高橋文哉／平野紫耀／ 福山雅治／みやぞん／ ムロツヨシ／ 山崎賢人／若林正恭	2	9位	有岡大貴／鈴木央士／ 鈴木福／菅田将暉／ 松島聡／山田裕貴	4
	中川大志	7						
	平野紫耀	7						

女性有名人では1位「永野芽郁さん」、2位「芦田愛菜さん」、3位「橋本環奈さん」となりました。

男女別にみると、男性回答・女性回答ともにTOP3は全体と同じ順でした。(図25)

(図 25)

◆一緒に頑張りたい同期のイメージに合う女性有名人 [自由回答形式] ※上位10位までを表示

全体[n=1000]			男性[n=500]			女性[n=500]		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	永野芽郁	32	1位	永野芽郁	10	1位	永野芽郁	22
2位	芦田愛菜	20	2位	芦田愛菜	7	2位	芦田愛菜	13
3位	橋本環奈	19	3位	橋本環奈	6		橋本環奈	13
4位	今田美桜	15	4位	今田美桜	5	4位	今田美桜	10
5位	浜辺美波	13		吉川愛	5	5位	浜辺美波	9
	広瀬すず	13		有村架純	4		広瀬すず	9
7位	有村架純	11	6位	小芝風花	4	7位	有村架純	7
8位	小芝風花	10		浜辺美波	4		芳根京子	7
9位	畑芽育	8		広瀬すず	4	9位	小芝風花	6
10位	芳根京子	7	10位	齋藤飛鳥	3		畑芽育	6

NEWS LETTER (調査レポート)

注:本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、合計しても100%とならない場合がございます。

また、属性別集計において抜粋して表示している場合は、n数を合計しても全体と一致しない場合がございます。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 社会人1年目と2年目の意識調査2025
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
2025年春(4月)から働き始める社会人1年生、または、
就職してから1年が経つ社会人2年生で20~29歳の男女
- ◆調査期間 : 2025年2月28日~3月10日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル(有効回答から社会人1年目と2年目を均等に抽出)
(内訳)

	社会人1年生	社会人2年生	計
男性	250s	250s	500s
女性	250s	250s	500s

- ◆調査協力会社: ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「ソニー生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問い合わせ窓口■■

ソニー生命保険株式会社 調査広報部 広報課 井上、堀島
電話番号 : 03-5290-6228
メールアドレス : press@sonylife.co.jp

■■会社概要■■

会社名 : ソニー生命保険株式会社
代表者名 : 代表取締役社長 高橋 薫
設立 : 1979(昭和54)年8月
所在地 : 東京都千代田区大手町 1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
業務内容 : 生命保険業